

1 市民アンケート・総合計画の各施策に対する市民満足度 (1 不満、2 やや不満、3 普通、4 まあ満足、5 とても満足 のうち 3、4、5を選んだ割合)

※着色(ピンク・青)した行は、前年度(R5)と比較して増減が3ポイント以上の施策(ピンク色が増、青色が減)【H29(現総合計画開始前年)とR6の比較は参考までに着色】

								(前年度との比較)				前期計画スタート時との比較	
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (後期計画スタート)	R6	満足度の増減 (R5 - R6)		アンケートに記載した 各施策の主な取組内容	満足度の増減 (H29-R6)
1	地域福祉・福祉医療	92.7	93.7	91.7	93.6	93.9	93.5	92.1	91.6	→	△ 0.5	■ボランティア人材の確保・活動促進 ■地域包括支援センターでの相談 ■子ども医療費の無償化拡大(高校生まで)	→ △ 1.1
2	低所得者支援	83.3	90.1	90.6	91.0	90.0	89.4	87.8	88.1	→	0.3	■生活困窮者に対する相談 ■生活困窮者の就労支援	↗ 4.8
3	障がい者福祉	89.7	90.9	92.6	93.4	93.2	92.9	91.6	92.1	→	0.5	■障がい者の相談支援 ■障がい福祉サービス ■障がい者の就労支援	→ 2.4
4	高齢者福祉	86.7	89.7	89.1	90.9	91.3	89.3	86.7	86.6	→	△ 0.1	■介護サービス ■高齢者の健康増進 ■高齢者の社会参加	→ △ 0.1
5	子育て支援	87.5	90.5	92.0	93.5	93.1	90.8	90.8	89.9	→	△ 0.9	■せきっこ未来応援券■保育サービス・幼児教育■子育て相談■一時預かりや延長保育■親子の交流の場	→ 2.4
6	健康	93.5	92.9	92.8	93.5	93.4	95.7	94.6	92.8	→	△ 1.8	■健康相談、ヘルスマイレージ■出産・子育て応援ギフト■成人・乳幼児の健康診断、がん検診■予防接種	→ △ 0.7
7	地域医療	88.8	89.9	90.0	91.2	92.6	92.2	91.3	90.3	→	△ 1.0	■洞戸・板取・津保川診療所運営 ■救命救急センターの運営支援 ■休日診療の運営支援	→ 1.5
8	教育環境づくり	88.3	88.6	90.4	92.5	92.5	91.2	89.3	86.1	↘	△ 3.2	■小学校・中学校の施設整備・改修 ■留守家庭児童教室の運営・環境整備	→ △ 2.2
9	小中学校教育	88.1	92.5	91.2	91.1	93.5	92.1	92.8	87.5	↘	△ 5.3	■小学校・中学校における学校教育 ■STEAM 教育 ■不登校対策	→ △ 0.6
10	関商工高等学校	91.5	95.3	94.9	95.7	96.0	96.6	96.8	94.7	→	△ 2.1	■関商工における高等学校教育 ■関商工における産業教育 ■関商工の施設整備	↗ 3.2
11	市民協働	92.2	92.9	90.8	93.5	94.0	91.7	92.1	89.5	→	△ 2.6	■市民活動の支援 ■地域委員会の活動支援 ■自治会活動や地域活動の支援	→ △ 2.7
12	若者活躍	88.6	89.4	89.7	90.1	92.4	90.3						
		前期基本計画期間の施策は、「若者活躍」のみ（女性活躍はない）											
12	女性・若者活躍 (R5～女性活躍追加)							85.9	86.0	→	0.1	■女性が働きやすい職場認定■女性の活躍推進セミナー■高校生や大学生のまちづくり活動、若者のチャレンジ支援	

1 市民アンケート・総合計画の各施策に対する市民満足度 (1 不満、2 やや不満、3 普通、4 まあ満足、5 とても満足 のうち 3、4、5を選んだ割合)

※着色(ピンク・青)した行は、前年度(R5)と比較して増減が3ポイント以上の施策(ピンク色が増、青色が減)【H29(現総合計画開始前年)とR6の比較は参考までに着色】

		(前年度との比較)										前期計画スタート時との比較	
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (後期計画スタート)	R6	満足度の増減 (R5 - R6)		アンケートに記載した 各施策の主な取組内容	満足度の増減 (H29-R6)
13	過疎対策・地域振興	79.8	76.6	79.7	80.5	81.6	78.8	82.5	80.9	→	△ 1.6	- 地域おこし協力隊の配置 - 地域資源の利活用・地域の担い手の育成 - 集落の維持	→ 1.1
14	多様性社会 (ダイバーシティ)	91.1	89.7	92.8	90.0	91.6	90.5	92.4	90.0	→	△ 2.4	- 男女共同参画意識の啓発・LGBT 理解への啓発、パートナーシップ宣誓制度の運用 - 国際理解、在住外国人へのサポート	→ △ 1.1
15	人権	91.5	93.3	94.4	95.7	95.2	93.1	93.5	92.5	→	△ 1.0	人権教育、人権啓発、人権相談	→ 1.0
16	生涯学習	93.7	93.4	93.8	93.8	94.8	93.7	95.4	92.6	→	△ 2.8	- 成人学校・さわやか学級など多様な学習メニューの提供 - 子ども見守りボランティア - 蔵書・電子図書の充実など	→ △ 1.1
17	スポーツ	92.3	92.0	93.7	94.0	94.8	94.0	95.3	94.0	→	△ 1.3	- せきせきマラソンやサイクルツーリングなどスポーツイベントの開催 - 体育施設(アテナ工業アリーナ、河上薬品スタジアムなど)の維持管理	→ 1.7
18	文化・芸術・歴史	92.1	90.8	93.2	93.6	95.3	93.7	93.8	91.5	→	△ 2.3	- 市民の劇場・芸術文化活動の充実 - チケットのオンライン販売 - 関鍛冶・小瀬鶴飼など文化財の保護・活用	→ △ 0.6
19	工業	87.7	88.3	86.6	87.5	87.3	88.3	93.8	91.1	→	△ 2.7	- 中小企業の競争力強化支援(DX、カーボンニュートラルなど) - ビジネスプラス展・工場参観日の開催 - 刃物産地のPR、企業立地の促進	↗ 3.4
20	商業	76.2	75.9	85.3	86.3	87.1	87.0	84.2	83.5	→	△ 0.7	- 中心市街地活性化支援(空き店舗活用、夏祭りなどイベント) - 公設市場の活性化イベント - 消費生活相談	↗ 7.3
21	経済・雇用	79.1	80.9	83.9	86.9	86.4	86.2	90.6	88.6	→	△ 2.0	- セキビズの運営など起業・創業の支援 - みんなの就職サポートセンターでの就職支援・出張相談 - 内職相談の実施	↗ 9.5
22	観光	82.5	80.2	81.4	83.3	82.8	81.8	87.6	85.4	→	△ 2.2	- 観光情報の発信 - 日本刀鍛錬・小瀬鶴飼・円空などの地域資源の観光活用 - 日本刀とアニメの企画展 - せきせきらの魅力向上	→ 2.9
23	農業	79.0	78.6	81.0	81.7	82.5	79.4	82.7	83.5	→	0.8	- 関市産の農産物の振興(キウイフルーツ、ブルーベリー、しいたけ、ゆずなど) - 荒廃農地の防止・活用、農産品のブランド化 - 農業の担い手育成 - 有害鳥獣の捕獲	↗ 4.5
24	林業	80.7	80.4	81.1	84.1	83.4	80.0	87.1	85.0	→	△ 2.1	- 森林の伐採・保全 - 関市産木材の活用・PR - 薪ストーブ導入支援	↗ 4.3
25	防災・減災・消防	89.7	87.4	90.0	91.2	90.3	90.2	91.7	89.9	→	△ 1.8	- 防災意識の啓発、災害避難カード作成 - 地域における防災活動(自主防災会、消防団など) - 消防や救急の体制維持 - あんしんメールでの情報発信	→ 0.2

1 市民アンケート・総合計画の各施策に対する市民満足度 (1 不満、2 やや不満、3 普通、4 まあ満足、5 とても満足 のうち 3、4、5を選んだ割合)

※着色(ピンク・青)した行は、前年度(R5)と比較して増減が3ポイント以上の施策(ピンク色が増、青色が減)【H29(現総合計画開始前年)とR6の比較は参考までに着色】

								(前年度との比較)				前期計画スタート時との比較	
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (後期計画スタート)	R6	満足度の増減 (R5 - R6)		アンケートに記載した 各施策の主な取組内容	満足度の増減 (H29-R6)
26	交通安全・防犯対策	89.3	90.0	89.8	91.6	91.2	91.1	92.3	89.0	↘	△ 3.3	交通安全教育・交通安全意識の啓発 地域の防犯活動 自転車ヘルメット購入支援	→ △ 0.3
27	環境保全	89.6	91.6	89.8	92.4	90.6	91.5	87.5	88.1	→	0.6	ウシモツゴなど希少野生生物保護 オオキンケイギクなど外来生物駆除 自治会による側溝清掃などの支援	→ △ 1.5
28	循環型社会	84.4	84.3	85.2	85.5	86.4	88.9	89.1	87.1	→	△ 2.0	生ごみたい肥化装置購入補助(ダンボールコンポストなど) 食品ロスに対する啓発 資源ごみ集団回収事業の奨励	→ 2.7
29	脱炭素社会 (R5～New)							89.0	87.9	→	△ 1.1	市民及び事業者への啓発 「脱炭素チャレンジ」の実施 太陽光発電の導入補助 環境教育の推進	
30	医療保険	76.7	86.2	84.2	86.4	86.9	81.7	86.0	85.9	→	△ 0.1	医療保険制度の運営(国民健康保険、後期高齢者医療保険)	↗ 9.2
31	都市計画・土地利用	80.3	82.7	82.8	83.3	83.8	81.2	82.3	74.2	↘	△ 8.1	まちなかの空き家・空き地利活用 歩いて楽しい空間づくりの促進 都市計画道路の整備促進	↘ △ 6.1
32	住環境	78.4	80.0	77.7	79.4	79.8	77.1	86.1	80.9	↘	△ 5.2	土地区画整理事業(平賀など) 空き家利活用支援(解体、家財処分費補助) 住宅の耐震化の支援	→ 2.5
33	公共交通	61.6	62.7	63.6	69.2	69.2	61.2	70.9	68.7	→	△ 2.2	市内巡回・地域内バスの運行 市内と市外を結ぶバス路線(高速名古屋線など) 長良川鉄道の運行支援	↗ 7.1
34	景観・公園	81.3	83.3	84.8	86.3	85.6	83.7	84.9	81.3	↘	△ 3.6	公園の維持管理、遊具点検・修繕 公園トイレの改修 景観の保全	→ 0.0
35	道路・橋りょう	75.5	78.9	80.1	79.3	78.9	80.7	77.1	80.3	↗	3.2	道路の舗装修繕や拡幅 新しい道路の開設 老朽化した橋の耐震補強や補修	↗ 4.8
36	治山・治水	85.6	83.8	84.4	85.3	86.7	85.3	86.3	83.9	→	△ 2.4	急傾斜地の崩壊対策 集中豪雨など災害時の水害対策	→ △ 1.7
37	上水道	95.1	94.8	90.0	93.1	92.0	93.1	90.8	89.8	→	△ 1.0	安全な飲料水の提供 老朽化した水道施設の更新	↘ △ 5.3
38	下水道	96.3	95.7	92.9	94.5	94.6	94.5	94.0	92.5	→	△ 1.5	衛生的な下水の処理 下水道処理施設の更新	↘ △ 3.8

1 市民アンケート・総合計画の各施策に対する市民満足度 (1 不満、2 やや不満、3 普通、4 まあ満足、5 とても満足 のうち 3、4、5を選んだ割合)

※着色(ピンク・青)した行は、前年度(R5)と比較して増減が3ポイント以上の施策(ピンク色が増、青色が減)【H29(現総合計画開始前年)とR6の比較は参考までに着色】

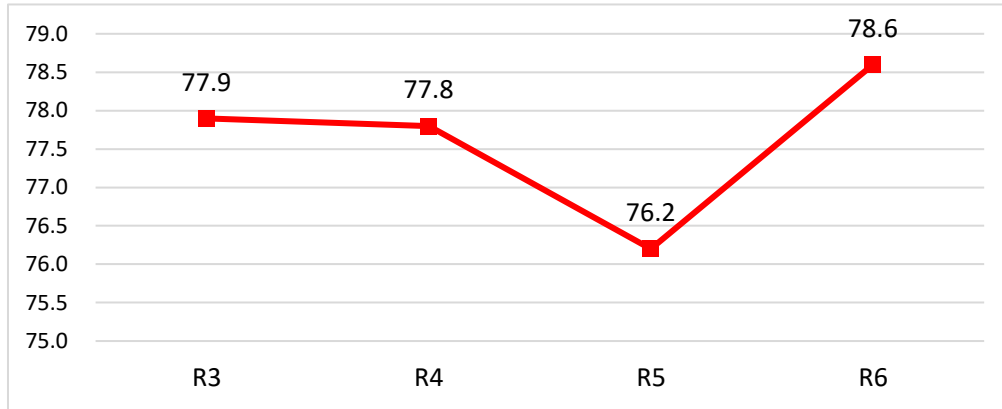
(前年度との比較)												前期計画スタート時との比較			
		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (後期計画スタート)	R6	満足度の増減 (R5 - R6)		アンケートに記載した 各施策の主な取組内容		満足度の増減 (H29-R6)	
39	移住定住	87.6	90.8	90.3	90.6	90.9	88.1	90.8	88.8	→	△ 2.0	■市内居住への支援(住まいる*せき応援券)■結婚新生活支援金■子育て応援券(ベビチケ・せきpay)の発行■空き家バンク運営		→	1.2
40	広報・シティプロモーション	90.5	91.1	90.1	90.0	90.5	89.2	93.7	91.6	→	△ 2.1	■広報紙の発行■関市の魅力発信(Instagram、youtubeなど)■ふるさと納税		→	1.1
41	財政運営	88.3	90.1	90.3	88.6	89.9	89.5	89.1	90.1	→	1.0	■健全な財政運営 ■税収の確保 ■公共施設の有効活用		→	1.8
42	行政運営	83.2	84.4	86.8	83.8	86.2	87.8	86.0	87.9	→	1.9	■効率的な組織 ■職員の育成 ■事業の見直し・評価		↗	4.7

2 市民アンケート(R6.11実施)・主な設問の回答状況

①住みよさと愛着

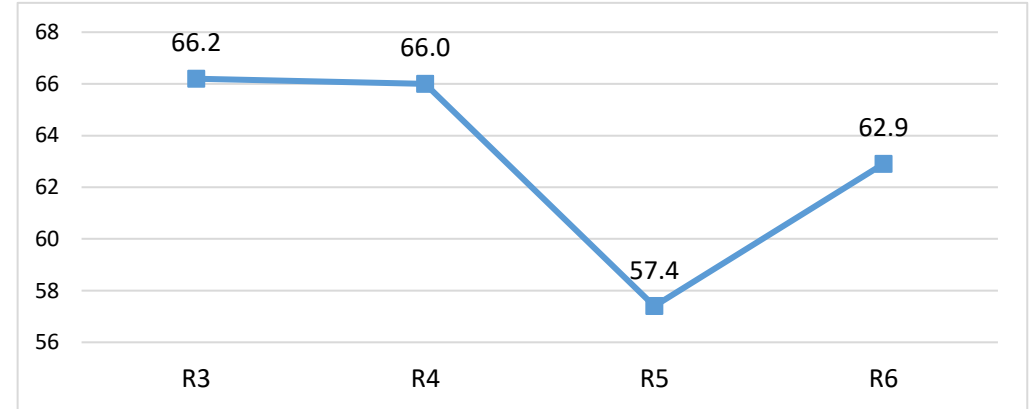
◆関市が「住みよいと感じている」割合

(%)



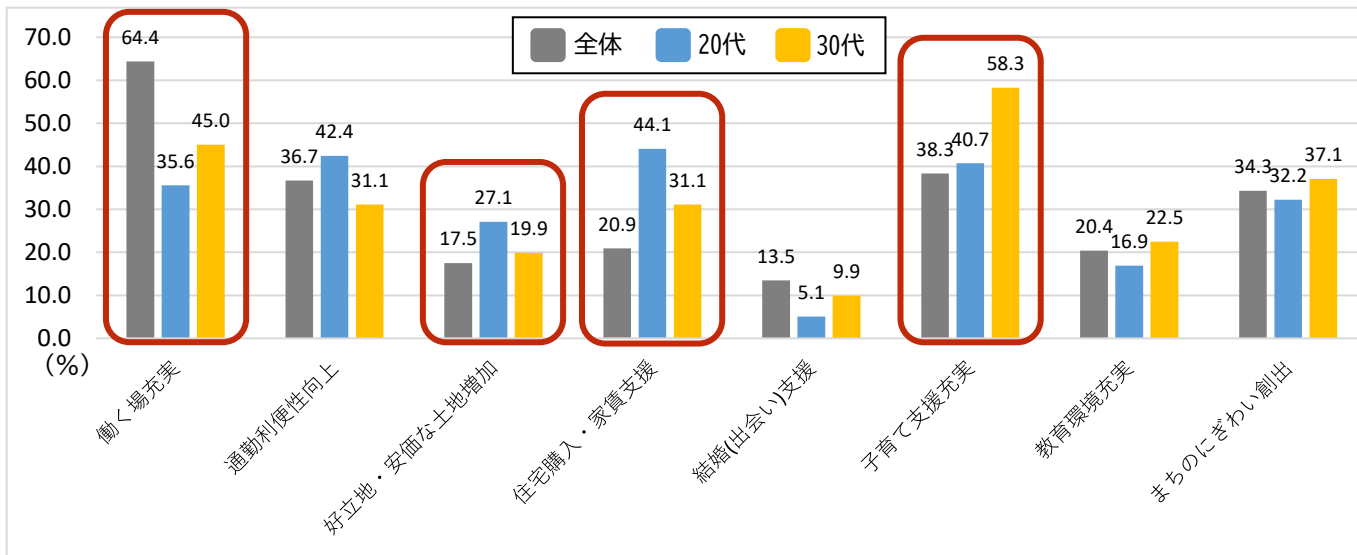
◆関市に「誇りや愛着を感じている」割合

(%)



「住みよいと感じる」の回答割合と「誇りや愛着を感じている」の回答割合のグラフの動きが似ている。「誇りや愛着」を感じている割合が高まれば「住みよい」と感じる割合も増加しているため、「誇りや愛着」を醸成する取組を検討していく必要がある。

①若年層(20～30代)が住み続けられるために重要なことは何だと思いますか(上位8項目)



全体の回答割合と設問の当事者である20～30代の回答割合の比較

・全体では「働く場の充実」が64.4%で最も重要との回答となったが、20代で35%と大きなギャップがあった。

・全体と30代の回答で最もギャップがあったのが「子育て支援の充実」であり、若年層にとって住み続けるための最も重要な要素となっている。

・「好立地・安価な土地の増加」「住宅購入・家賃支援」など若年層が重要と感じる割合が高く、支援が求められている。